

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおづ

2

February 2026

大人になっても、
ワタシらしく



clozu-up
Ozu-jin



Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2026 2 ○

発行・編集 大津町・総合政策課
〒860-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津1233番地
TEL.096(293)3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> *広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油インクを使っています。

UD
FONT



UD
FONT

広報が読める
スマートフォン
アプリ
マチイロ

見やす
く読みま
ちがえに
くい



UD
FONT

見やす
く読みま
ちがえに
くい



▲県外から立候補したメンバーも。式典を創り上げた実行委員たち

◀同級生が考案した記念品のタオルデザイン



▲「車道に飛び出すほど活発」だった

幼少期

記憶に残る、
一步を。



ら そ う し
は よ き
清原 壮志さん(美咲野)

「とにかく成功した良かった、ところの『取扱い』です」式典後の感想を穎やかな笑顔で語る清原さん。物腰が柔らかく、謙虚な姿勢は20歳とは思えないほど落ち着いている。高校では陸上部でキャップトーンを務めるなど、必要とされる場面で役割を引き受けた。県内の進学校を経て、進学先には通信制大学を選んだ。「県内」、自分が学びたい分野を専攻できる学校がなかったんですね。校内で通信制を行ったのは僕だけだと恥じます」周囲に流れている空気からは、芯の強さがうかがえる。式典の実行委員長として「ただプロの『くわい』なだけではなく、みんなの記憶に残る式典にしたかった」と話す清原さん。発案したのは、回りくどい歳を迎える「ハッピーハーフ」の玉演だ。サプライズゲストとしての招致に見事成功した。また、記念品のタオルは実行委員会ではない同級生がハイペースを看取。メンバー以外も巻き込んで、みんなで式典を成功させたい。そんな思いで取り組んだ。「式典後に友達から『良かったよ!』と拍手をかけられたことが何より嬉しかったですね」将来の夢はまだ模索中だが、たまにわらな人と関わる仕事をつけてくる母の背中を見に育ち「田舎も多い人」と関わっていきたら」と語る。大人の一歩を新たに踏み出った清原さん。やの歩みは、自分のこゝ

未来へと続いている。

スマートフォンを機種変更しました。これまで格安機種を限界まで使い倒してきましたが、今回は最新機種に。スマートホンの処理速度がなんと倍になるそうです。旧機種はカメラの起動に10秒、二次元コードの読み取りに30秒ほど時間が要していました。着信があった時もスマートホンが表示され、ボタンが表示されねば、掛けなおす」といひつけました。今回の機種変更でアドリの起動の速さはもちろん、電話によるもすぐ出られてフリーズもしない。生活の質が一気に向上しました。皆が最新機種を選ぶ理由が分かった気がします。(M.S)

「とにかく生涯学習センターで開催した「二十歳式」。実行委員長の清原壮志さんと通信制大学でプログラマツヒングを学び、大津町地域未来塾の講師も務める2年生だ。新たに大人としての一歩を踏み出した清原さん」クローズアップした。

「ハジの娘